

金井喜久子生誕120年記念
オペラ「沖縄物語」プレイベント

高良仁美

ピアノリサイタル

金井喜久子に想いを馳せて
All KanaiProgram

琉球譚詩曲

ブラジルラプソディ

アダージョとアレグロ

琉球カチャーシー

ハイビスカス

ピアノ五重奏

他

【共演】

sop. 知念利津子

1 vn. 印田千裕 2 vn. 加藤小百合

va. 市川友佳子 vc. 印田陽介

2026

9 / 18(金)

開場 18:30 開演 19:00


那覇文化芸術劇場なはーと小劇場

那覇市久茂地3丁目26-27

※一般駐車場はございません。公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

※二輪（バイク・自転車）専用駐車場は若干台数ございます。

【プレイガイド】

デパートリウボウ4Fチケットカウンター (098-867-1171) /  teket

島ピアノセンター(098-933-5932) / 文楽楽器那覇店 (098-832-1313)

【お問い合わせ】 opera.okinawa.story2026@gmail.com

主催 : 高良仁美ピアノリサイタル実行委員会

共催 : 那覇市

特別協力 : 金井喜久子プロジェクト実行委員会

後援 : 琉球放送・沖縄テレビ・琉球朝日放送・FM沖縄・琉球新報・沖縄タイムス



 teket

【チケット料金】(全席自由)

早割(8/31まで) 一般 ¥3,500

前売(9/17まで) 一般 ¥4,000

大学生以下学生 ¥2,000

親子席 ¥5,000

(3歳以下膝上無料)

当日券 各券 ¥500増

*車椅子席は若干のお席をご用意がございます。

リサイタルへの想い

金井喜久子生誕120年。世の中が激動の中、沖縄音楽を世界に知らしめるためにエネルギーを注ぎ続けた金井喜久子の再評価が進んできました。ちょうど20年前、生誕100年を機にCD金井喜久子ピアノ曲全集出版のお話をいただきました。金井家と交流のあるキングインターナショナルの方からでした。いただいた楽譜は殆ど手書き。限られた情報と重責に、録音を引き受けるかどうか悩みました。そして、その当時の私の知識と経験から出来る限りの力を注いでリリースされた《琉球カチャーシー》。レコード芸術誌で特選をいただき、朝日新聞や日本経済新聞等、大手メディアでも推薦盤として取り上げていただき、予想以上の評価に喜びよりも安堵したことを懐かしく思います。その後、東京文化会館や東京オペラシティに於けるソロリサイタルでプログラムに取り上げ、日本の高名な音楽評論家等から高い評価をいただいたことが、私のピアニストとしての生き方に、確信と覚悟を自覚するきっかけになりました。ある意味、私の音楽人生のターニングポイントだったかもしれません。あれから20年。楽譜の見え方もだいぶ変わりました。あんなに悩み苦しんだのに、今では複雑にもつれていた糸がスルスルとほぐれるように、シンプルに見えてきます。そこで今回のリサイタルは金井作品の魅力をもっと多くの方々に知っていただきたく、ソロ作品の他に、歌曲、ピアノ五重奏でプログラミングしました。明るく大らかな、いかにもウチナーらしい、他に類を見ない作品！これも令和元年度文化庁芸術祭参加作品CD《日本女性作曲家の歩み～室内楽作品》としてリリースされています。その収録で共演した、信頼する素晴らしい方々を招いて演奏させていただきます。生誕120年という記念すべき年に、現在の私が表現する金井喜久子をお届けできることを、心から光榮に思います。金井喜久子に想いを馳せて…。

高良仁美

高良仁美（たからひとみ）

本部町備瀬に生まれる。武蔵野音楽大学附属高等学校を経て、同大学を卒業。東京を拠点に、ソロリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など、幅広い演奏活動を展開している。沖縄・東京をはじめ国内各地にてリサイタルを重ね、とりわけ津田ホールにおけるソロリサイタルは、『音楽の友』誌上「音楽評論家による印象に残るコンサート」に選出されるなど、高い評価を得ている。これまでに発表したCDはいずれも各方面より高評を博す。2006年、生誕100年を記念してリリースされた《金井喜久子ピアノ曲全集～全曲世界初録音〈琉球カチャーシー〉》は、『レコード芸術』誌特選盤に選出され、朝日新聞、日本経済新聞をはじめとする主要紙において推薦盤として紹介された。続く《伊福部昭ピアノ作品集》はビルボード上位にランクイン、瑞慶覧尚子作品集《沖縄・夏の風景》もまた各種メディアに取り上げられ、NHKおよびANA機内放送などで広く紹介されている。その演奏は、作品への深い洞察に基づく的確な解釈と緻密な構成力、そして豊かな感性に支えられ、国内外の著名演奏家との数多の共演を通して高い信頼と評価を確立している。近年では、デンマーク国立交響楽団首席トロンボーン奏者ラーシュ・カーリン、ミルウォーキー交響楽団首席トロンボーン奏者神田めぐみとの共演が注目を集め、また日本フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者伊藤寛隆とのデュオは20回を超えて継続している。共演CDも多数リリース。宮崎国際音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ、浜松国際管楽器フェスティバル&アカデミー、日本フルートコンベンション、国際ホルンフェスティバル山形、IWBC水戸をはじめとする主要音楽祭において公式ピアニストを務めるほか、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などの公演にも客演。演奏活動と並行して後進の育成にも尽力し、現在、尚美ミュージックカレッジ・ディプロマコースにて、管楽器コレパティトールとして講師を務めている。沖縄タイムス芸術選賞において、2002年度奨励賞、2010年度大賞受賞。



【共演者プロフィール】



©Ayane Shindo

印田千裕（いんだちひろ・第1 ヴァイオリン）

2歳半よりスズキ・メソッドでヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。英国王立音楽院演奏家ディプロマコース修了。ノヴォシビルスク・ヤングヴァイオリニスト国際コンクール・ジュニア部門第3位、江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位他入賞。2009年CHANNEL Pygmalion Days コンサートシリーズ、NHK-FM名曲リサイタル、東京オペラシティ主催「B→Cパッサハからコンテンポラリーへ」等に出演する他、オーケストラ客演首席、室内楽など幅広く演奏活動を行っている。



©Ayane Shindo

印田陽介（いんだようすけ・チェロ）

千葉県八千代市出身。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学音楽学部を卒業。チェコ・プラハ音楽院修了。室内楽を中心に、ソロ、オーケストラやレコーディング、YouTubeから現代音楽まで幅広く活動している。ヴァイオリニストの姉・印田千裕とのデュオでは2012年より毎年リサイタルを開催し、ヴァイオリンとチェロの二重奏という編成の可能性を追求している。邦人作品も積極的に取り上げており、新曲初演も多い。ミモザ弦楽四重奏団チェロ奏者。CD「Present-知られざるデュオ名曲集-」「Water Droplets-珠玉のデュオ名曲集-」「菅原明朗器楽作品集（無伴奏セロソナタ）」「都市の陰影（ハリーのしっぽ）」「直会-Nao Rai-」など多数リリース。



加藤小百合（かとうさゆり・第2 ヴァイオリン）

東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。卒業後、同大学音楽学部弦楽科教育研究助手を務める。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第2位、みえ音楽コンクール第1位をはじめ多数のコンクールにおいて入賞。現在は後進の指導にあたりるとともに、教育機関や施設でのコンサートに積極的に取り組んでいる。



知念利津子（ちねりつこ・ソプラノ）

沖縄県立芸術大学声楽専攻卒業、同大学大学院修了。宗教曲や第九ソリスト、オペラの舞台やソロリサイタル等、幅広い演奏活動をする。第52回沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。日本オペラ協会正会員。沖縄県立芸術大学非常勤演奏員、沖縄県立開邦高校芸術科音楽コース非常勤講師。



市川友佳子（いちかわゆかこ・ヴィオラ）

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。公益信託松尾金蔵記念奨学基金を得て、同大学院音楽研究科修士課程音楽教育ヴィオラ専攻修了。同大学院音楽研究科博士後期課程音楽教育専攻を修了し、博士号を取得。

金井喜久子生誕120年記念

オペラ「沖縄物語」

2026年12月27日（日）15時開演

那覇文化芸術劇場なはーと大劇場

詳しくは、なはーとのホームページへ